

「食」と「生」



食べることは、
生きる力そのもの――。
口から食べることで、元氣を取り戻したある女性から、そのことを学びます。

山口和子(仮名)さんは72歳のときに腎臓を悪くし、5年前、特別養護老人ホーム「明日香園」(土師)に入所しました。昨年、山口さんは食べ物飲み込みが難しく、検査のため入院することになりました。医者から「今後、口から食べることは難しい」と告げられ、鼻から管を通し、胃まで直接、水や栄養、薬を投与する「経鼻栄養補給」に切り替えました。

その頃の様子を、家族は「口から食べなくなつてから、意識がもうろうとしていき、しゃべることもできませんし、家族のこともわからなくなつていきまし



た」と振り返ります。

退院後、山口さんは再び明日香園に入所。明日香園の介護職員仲村泰俊さんは、「『看取り』と聞いて山口さんのお世話にあたりました」と当時のことを話します。

入所の際、家族と職員は、経鼻栄養補給を継続するかどうかを話し合いました。「口から食べなくなつたのなら、そのまま自然に……」という声が出る中、家族から「少しでも長生きできるなら、続けてほしい」と要望があり、引き続き経鼻栄養補給を続けることとなりました。

明日香園に戻り、鼻から通す栄養補給が続く山口さん。ほとんど動けず、意思疎通も取れませんでした。声かけに少しずつ反応を示すようになっていき、鼻に通した栄養補給用の管を自分で引き抜くなどの行動がみられるようになりました。

「もしかしらたら、口から食べたいんじゃないだろうか」。そう思った仲村さんと施設の看護職員は、家族と話し合い、「口から食べさ

明日香園(土師)職員
なかもら やすとし
仲村 泰俊 さん



今からできる「食」改善への第一歩！

できることから はじめよう！



今年3月、「桂川町健康増進・食育推進計画」を策定しました。

町民の健康を取り巻く環境の変化を踏まえ、町民の健康の増進を着実に進めるために、桂川町では初めて策定されました。全ての町民が、生涯にわたって健康づくりに取り組むことを目指し、「食育」と一体的に取り組むことを目標に、平成29年度から平成33年度までの5年間の計画となっています。

基本理念は「できることから始めよう！ 健やかで 笑顔あふれるまち “けいせん”」。健康や食育は、すぐに効果が出るものではありません。また、無理して行っても長続きしません。今、自分にできることから始めてみてください。それが、自分の、家族の、そして町の健康につながるはずですよ。

【問合せ先】桂川町 健康福祉課 健康推進係
☎65・0001

interview |
桂川町 健康福祉課
管理栄養士
あおやぎ まい
青柳 麻衣